

令和2年7月10日

緊急申入

自由民主党
幹事長
国土強靱化推進本部長
令和2年豪雨災害対策本部長
二階俊博

平成30年西日本豪雨、令和元年東日本台風、令和2年の梅雨前線線状降水帯による豪雨と、我が国を揺るがすような災害が相次いでいる。

まず、人命救助、被災者の支援、復旧、復興に全力を注力する一方で、治水は政治の要諦であるとの認識のもと、今後さらに激甚化することが予想される災害に対して、確固たる決意で以下緊急に申し入れる。

1. 被災地で、早期に被災者の不安を取り除き、元の生活を取り戻すため、抜本的な洪水、土砂災害対策を自治体等と連携し、早急にとりまとめ、速やかに実施すること。
2. 国民が安心して暮らせる地域をつくりあげていくためには、事前防災こそが本来の姿である。その実現のため、各水系の特性（川の相）を踏まえ、流域の関係者が一丸となった、ハード・ソフト一体の中長期の治水計画を策定・実行すること。
3. 計画策定に当たっては、事業の意図、目的、効果を分かりやすく示しながら、国民とのリスクコミュニケーションを徹底すること。
4. 最近の被害の発生状況を見ると、施設整備が気候変動の激甚化に比べ明らかに遅れている。中長期の計画に基づき、事前防災を加速化するため、令和2年度までに行った防災・減災・国土強靱化緊急対策を含めた予算規模を前提に令和3年度以降内容の充実を図るとともに大幅な予算規模の拡大を図ること。
5. 気候変動によって災害がさらに激甚化することから、治水計画を、気候変動対応型の計画に抜本的に見直すこと。
6. 激甚化する災害からの早期復旧、被害拡大防止のため、TEC-FORCE や防災・減災・国土強靱化にあたる最前線の現場の組織の体制・機能の充実・強化を図ること。